



世界で活躍する
日本の建設企業



橋梁工事施工状況



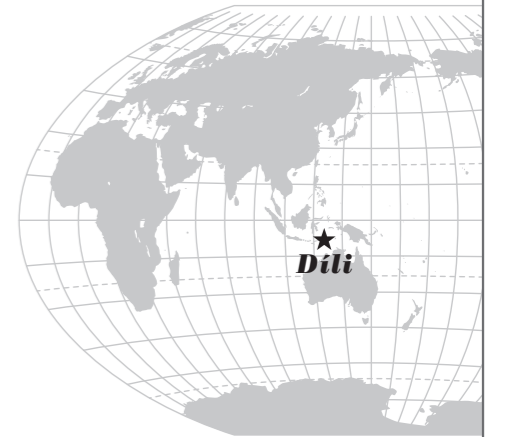
アクセス道路工事施工状況

コモロ川上流 新橋建設計画

飛鳥建設株式会社 国際支店 東ティモール コモロ川新橋作業所 所長

若松友二

Yuji Wakamatsu



東ティモール民主共和国の紹介

東ティモールは、インドネシア南東部に位置するティモール島の東部にあり、島の西部はインドネシア領（一部飛び地で東ティモールの領土がある）、南側にはティモール海を挟みオーストラリアがある。東ティモールの国土は60%が山岳地帯で周囲は美しい海に囲まれており、手つかずの自然が多く残っている。国土面積約一五、〇〇〇平方キロメートル（首都圏一都三県とほぼ同じ）に人口約二四万人（二〇一五年、出典：世界銀行）が住んでおり、国民の九九%がキリスト教徒、残り1%はイスラム教徒である。

東ティモールは、ポルトガル、インドネシアの支配を受けた後、二〇〇二年に正式に独立を果たしたアジアで一番新しい国である。二〇一一年に中長期的な国家開発計画である戦略開発計画（SDP）を策定し、二〇三〇年までに上位中所得国入りを目標とした、社会資本やインフラ整備などの開発計画を発表しており、現在この計画の実現に向けて大型インフラ事業が国内各所で進められている。

プロジェクトの紹介

東ティモールの首都デリの人口増加は著しく、市内主要道路の交通量も急増している。

備するものである。

工事の概要

本工事では、コモロ川に架かる既存橋の上流約八〇〇メートルの位置に、橋長二五〇メートルのPC六径間連続箱桁橋と延長約三キロメートルのアクセス道路を二七カ月の工期で施工する。

河川内の施工は、大型土のうにより仮設堰堤を築き転流しての施工となるが、コモロ川は河床勾配が一／三〇～一／七〇と急流河川であるものの、一年の内約半年はほぼ水が無い状態である。橋梁上部工は固定式支保工架設工法により施工しており、雨期の増水時の水位を考慮した締切り及び支保工基盤の高さを計画し施工している。

アクセス道路工事は、新設道路工事区間の約一キロメートル、既存道路改修区間の約二キロメートルを施工するものである。

終わりに

新設道路工事区間では、施工中にも関わらず、既に道路敷地用地のすぐ際に新しい住宅や店が建ち並び始めており、地域社会における本プロジェクトへの期待の高さが窺える。

わが国の目に見える支援としてアピールできるように、二〇一八年八月の完成を目指している。



デリ市内の海岸



完成予想パース（橋梁部）